

Ⅲ 成果と課題

1. 成果

(1) 生徒が感じている成果

総合的な学習の時間の成果を生徒本人が実感としてとらえるため、昨年度より総合的な学習の時間の事前と事後の変容をみるためにアンケート調査を行っている。2、3年生においては、前年度の事後調査と次年度の事前調査を兼ねることとした。また、1年生においては、事前調査を5月に行い、小学6年生の時の活動を振り返るように指示した。事後調査は、本年度の総合的な学習の時間（Bridge）が終了した12月に行った。

図1は、「総合的な学習の時間は、好きですか」と尋ねた結果である。どの学年も「好き」と答えた生徒が活動を終えるごとに増加している。今年度の事後調査で「好き」と回答した生徒の自由記述を以下に示す。

【1年生】

○総合的な学習の時間を通して、自分の知識やスキルを生かして自分の生活に応用していくことができるから。

○福祉交流体験など普段はできない体験ができ、自分たちで考えて活動していくことが楽しいから。

○ふるさとについて学ぶのはとても楽しいし、新しい発見や考えがあるから。

○授業では身に付かない、人と関わる力が付くから。

○各教科で学んだことをすべて活用して、自分たちで計画、実行や運営をするというのが楽しいから。

○みんなでアイデアを出し合って考えるのが楽しいから。

【2年生】

○情報を集めて、資料の関連性を考えたり、グループで話し合っってアイデアを出していくのが楽しかった。

○生きていくための知恵など、学校の授業では学べないことがたくさん学べ、実感することができるから。

○実際に社会で働いておられる方と一緒に活動したり、話を聞いたりすることで、いろいろな価値観を得られるから。

○職場体験など実際に社会に出てそこで一緒に働くことでたくさんのことを学べた

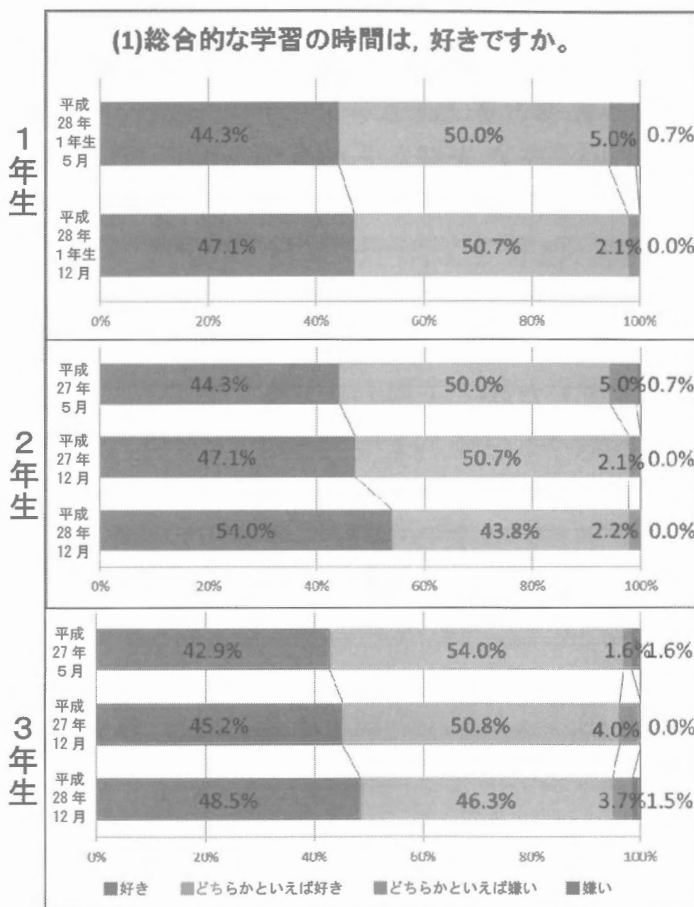


図1 「総合的な学習は、好きですか」の結果

し、自分の住みたいまちについて考えることができたから。

○地域で働く人たちの思いを知ることができ、島根の良い所や課題を知ることができたから。

【3年生】

○みんなで意見を出し合って考えるから楽しいし、生活する中で役に立つから。

○自分の得意を生かして興味ある分野で活動ができ、自分から行動していかないと結果が得られないけど、達成できたときの喜びがすごかった。

○3年生の活動は自由度が高く、今まで習ってきたいろいろな教科やコミュニケーション力が試され、それを活動する場がたくさんあって楽しかった。

○友達と協力したり、先生や地域の方にたくさん手伝ってもらって取り組むことができたから。

○みんなと協力しながら1つの課題に取り組むことができ、毎年違った活動なので楽しい。また先輩たちの活動を聞いて、3年生の活動のイメージが膨らんでいて、よりよい活動ができたから。

下の図2は、本年度から設定した総合的な学習の時間のテーマに関連して、事後調査で「総合的な学習の時間を通して、『住みたいまち』について考えることができましたか」と尋ねた結果である。「できた」「どちらかといえばできた」と回答している生徒が1年生では98.5%，2年生では98.6%，3年生では98.5%と、どの学年もほとんどの生徒が住みたいまちについて考えることができたと答えている。

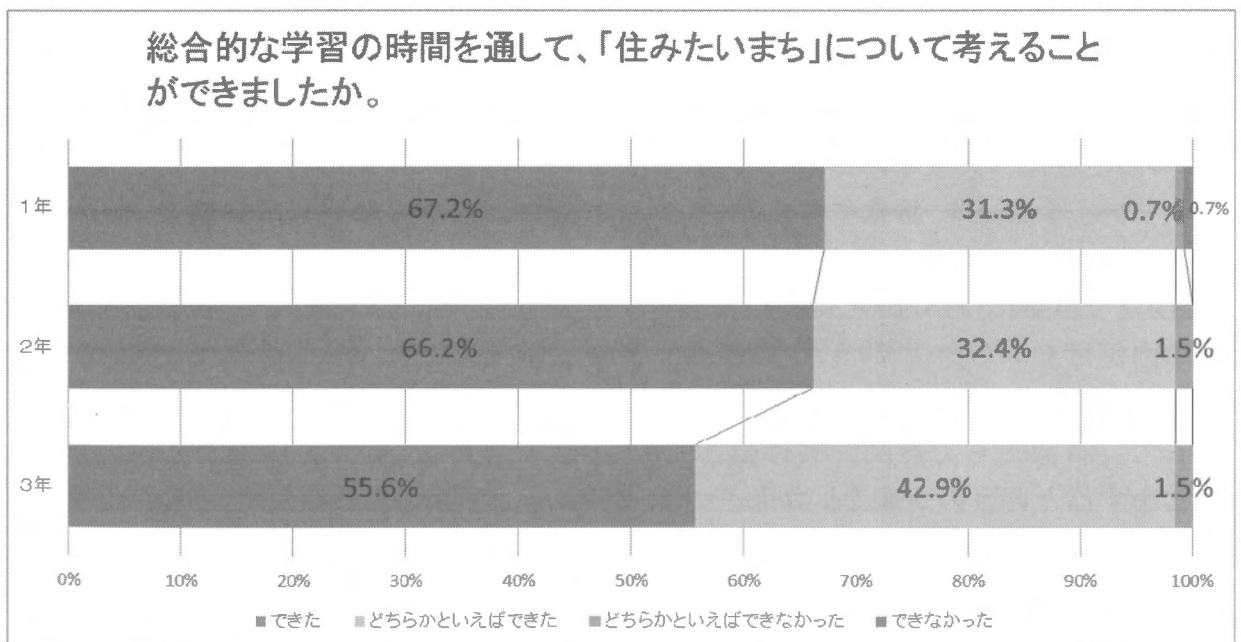


図2 事後アンケート『総合的な学習を通して、「住みたいまち」について考えることができましたか。』の結果

「できた」と答えた生徒が具体的に考えた内容を以下に示す。

【1年生】

○高齢者の方のためのまちづくりをすれば、住みやすいまちになると思った。

○いろいろな人の島根に対する思いや願いを聞いて、様々な人が住みたいと思えるまちとはどんなまちなのだろうと思った。

○最初はあまりイメージがわからなかったけれど、交流体験や講演会、先輩たちの発表を聞いて、笑顔がたくさんある明るいまち、人と人がつながるまちなどかなと思えるようになった。

○今ある島根の豊かな自然を生かして、それをPRしていけば県外からIターンやUターンしてくる人が増えると思った。

○友達と意見交換したり、島根の良さや課題を考えたりすることで、住みたいまちについて考えを深めることができた。

【2年生】

○住みたいまちにしていけるためには、どんなことが必要であるのかを考えることができるようになった。

○職場体験で学んだ住みたいまちは、人々が安心して病院に行き利用できるまちだと知り、これから高齢者が多くなるので、そのために僕たちがこれからの医療を変えていきたいと思った。

○職場体験で「どのようにすれば店に来てもらえるのだろう」といつもと違う視点から考えることを知ったので、住みたいまちも自分の視点だけでなく、年齢、性別、他県からの移住者などいろいろな視点で考えると良いと思った。

○子育てが安心してできるように、働くママたちのサポートがたくさんあるまちにしていきたいと思った。

○職場体験で一つの商品が売れるまでにいろいろな人が関わっていることを知ったので、人と人とのつながりがこれからの住みたいまちに求められると思った。

【3年生】

○地域の方にアンケートを取ることで、リアルなまちの声を聞いて、問題解決のために自分に何ができるかを考えることができたから。

○松江の良さは何か、どういう課題があるのか、どう解決し改善していけばよいのかを考えることができた。

○自分が考えている住みたいまちは、みんなが必ずしも望んでいるまちではないことを知り、社会のニーズに合うまちを考えていきたいと強く思った。

○活動をしていく中で、自分の住みたいまちについてではなく、「誰もが住みたいまち」にしていきたいと考えるようになりました。

○まちを新しくして都会に近づけることだと最初は思っていたけど、今ある良さを生かして、島根らしいまちにしていけることが大事だと気付いた。

事後アンケートにおいて、「1年間の総合的な学習の時間を通して自分が成長できたところ」についての自由記述を以下に示す。

【1年生】

○自分から進んで活動することができるようになったし、何よりコミュニケーションがとれるようになったことは一番嬉しかったです。

○福祉交流体験活動を通して、人と接するスキルや積極的に交流するスキルが少し身に付いた。また、松江城やホーランエンヤを守っておられる方からお話を聞いて、私の周りの地域の人の生き方や考え方を知ることができた。

- 「社会を知る」という目的で松江の現状を知り、そこから住みたいまちについて考えることを通して、意見を出したり、みんなで課題を考えたりすることが楽しく思えるようになった。
- あまり松江に魅力を感じていなかったけれど、総合の時間で松江のことを考えることで興味をもてたし、課題などについても考えることができた。つまり、自分は松江について知れたし、今は松江をどうしたら住みたいまちになるのか考えるのが楽しい。
- 大きな課題であっても、順序だててしっかりしていけば解決ができることを知った。いろいろな立場の人の話を聞いて、自分自身の住みたいまちについて考えることができた。

【2年生】

- 地域のことについての関心、人に理解してもらえるわかりやすいプレゼンの能力がついたと思う。職場体験を通して、働くことの厳しさややりがいも学んだ。
- 島根は田舎で嫌だと思っていて、今も都会に行きたいという気持ちはあるけど、総合でいろいろな島根の良さも知ることができた。だから、今は来年の社会参画活動で、地域のために何ができるのだろう、島根のためにと考えることができるようになった。
- 今までよりもあいさつができるようになった。人と人とのつながりが大事だと職場体験で学んだからだと思う。職場体験や講演などを通して関わったたくさんの人の生き方を知ることで、自分の将来についての参考になった。
- みんなの考える住みたいまちがいろいろあって、自分と意見が違う人が多かった。みんなで意見を伝え合うことのおもしろさを知った。また、人の考えを否定せずに「こういう考え方もあるのか」と受けとめることができるようになった。いろいろな人と関わったり、講演を聞いたりすることが、自分の生き方のプラスになることがわかったので、積極的にたくさんの人と関わりたいと思うようになった。
- 自分が人に支えられて生きていることを自覚した。お店にいくと物を買って終わりだけど、その裏に、物を仕入れる人、作る人、店を掃除する人など、いろいろな人が関わっていることを知った。だから私もだれかの支えになりたいと思ったし、支えがいっぱいあるまちを作りたいと思うようになった。

【3年生】

- 自分が決めた課題に対して最後まで追求していく力や、活動を資料にまとめ聞き手に伝える力が身に付いた。様々な人と関わって、相談したり協力したりして活動することができるようになった。
- いつまでに相談して、アポをとってなどの計画を立てることができるようになった。また、問題が起きたときに、解決案を考えてすぐ行動する力がついた。これにより、臨機応変な対応ができるようになった。
- 今まで自分は将来やりたいことがないような状態だった。でも、今回の総合で自分自身がやってみたいことが見つかった!!自分の将来が見つかることでこれからどうすればよいのかということも考えることができるようになった。
- 自分たちで行動していくことができるようになりました。松江の環境について積極

的に考えることができ、住みたいまちにしていけるためにきれいな川をキープすることが大切だと思った。そうするために地域の人と協力してできる取り組みを考えたいと思った。

- 1, 2年のときは決められた内容をやるだけで良かったけど、今年のは自分たちですべてを決めなければいけなかった。それはすごく大変なことだったけど、1, 2年で学んだことを生かしながら活動することができた。島根を住みたいまちにしたいという思いが強くなった。

その他のアンケート結果は、付録1, 2, 3に示す。

(2) 総合的な学習の時間と教科との関連

図3は、生徒の事後アンケートで「総合的な学習の時間において、どの教科の学習をいかすことができましたか（複数回答可）」と尋ねた結果である。

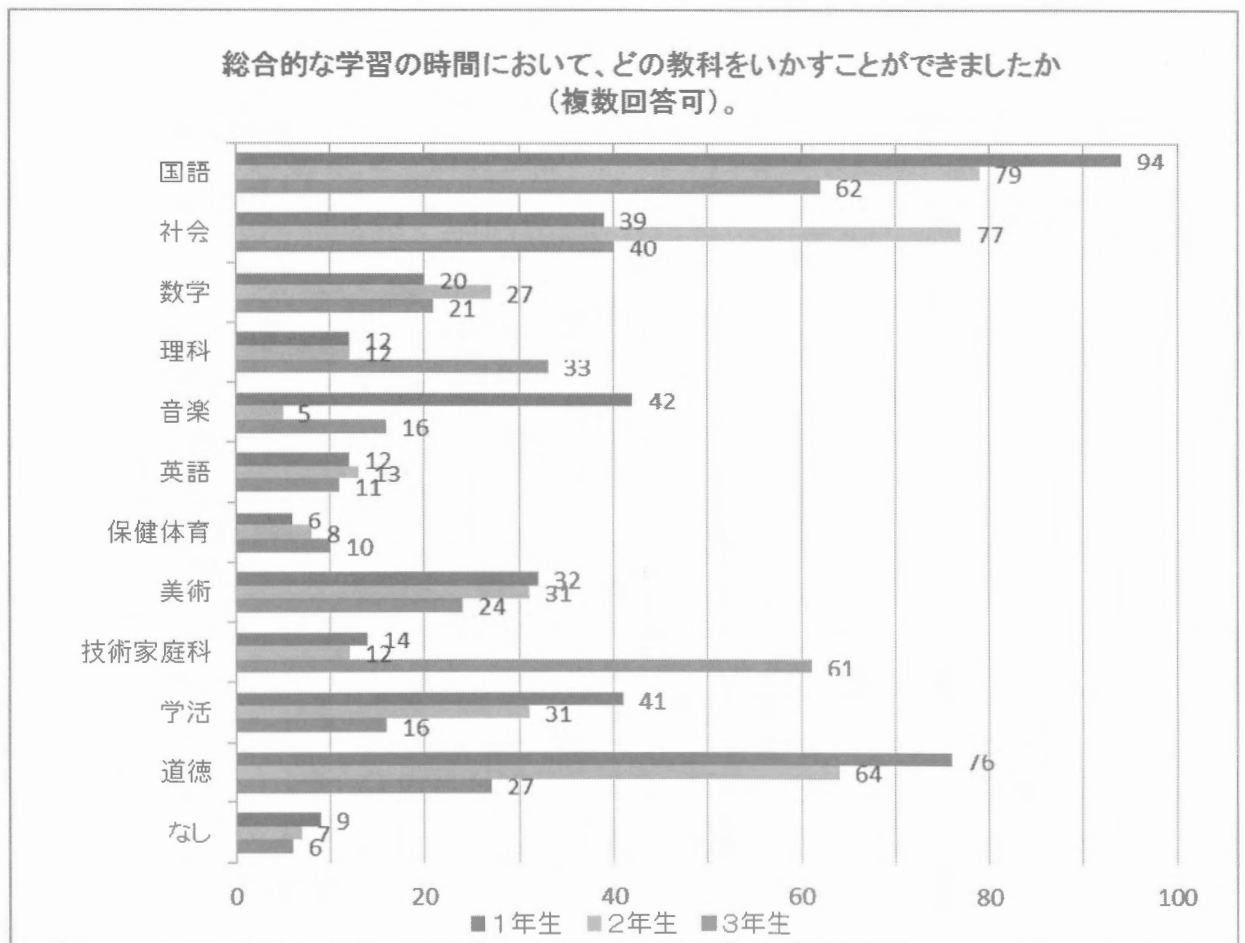


図3 「総合的な学習の時間において、どの教科の学習をいかすことができましたか」の結果
生徒が記述した総合的な学習の時間の内容を生かした教科の学習や具体的な内容を以下に示す。

【国語】

- 協力してもらおう方への敬語や言葉遣い。
○正しい手紙や葉書の書き方を学んだので、それを礼状でいかすことができた。

【社会】

- この地域の歴史や当時の日本の様子などを用いてマップを作ることができた。
- まちの安全や職業について調べ、来年の活動を行う際の知識が増えた。

【数学】

- 集めたアンケート結果のデータをどうやって処理していくかのとき。

【理科】

- 実験を繰り返し行ったので理科の授業でのことが役立った。

【英語】

- 留学生の方と一緒に活動したので、英語の授業で学んだ単語や文の構成などを実際の交流でいかすことができた。

【音楽】

- ミニコンサートをしたので、音楽で身に付けたスキルや歌うことの楽しさを伝えることができた。
- 音楽の授業で習った曲を披露することができた。

【保健体育】

- AEDに関する知識やその使い方。
- 地域のゴミがそのように処理されていくのかを保健で習っていたこと。

【美術】

- パンフレットを作る際のレイアウトやレタリング。
- イラスト付きの分かりやすいプレゼン資料を作るとき。

【技術家庭科】

- 発表資料をパソコンで作るとき。
- 和菓子作りを作るときの片付けや準備。

【学活】

- 友達と協力してものごとを進めるスキル。
- お互いの良さを取り入れながら活動すること。

【道徳】

- 命を大切にす気持ちや考え。

図4は、生徒の事後アンケートで「教科の学習において、総合的な学習の時間の内容をいかすことができましたか（複数回答可）」と尋ねた結果である。

生徒が記述した総合的な学習の時間の内容を生かした教科の具体的な場面を以下に示す。

【国語】

- スピーチ活動の時に、総合で学んだ話す力を生かすことができた。
- 限られた時間やグッズでの発表をしたので、総合で身に付いた要約する力を生かすことができた。

【社会】

- 他の人の体験を聞くことで、社会保障や今の社会に関わる問題などについて考えることができ、それが公民の学習と連動していると思う。

- 社会でフィールドワークなど地域の学習をしたときに、総合の「住みたいまち」と関連付けながら学習することができた。
- これからの島根だけでなく、これからの日本や世界についても考えられるようになった。

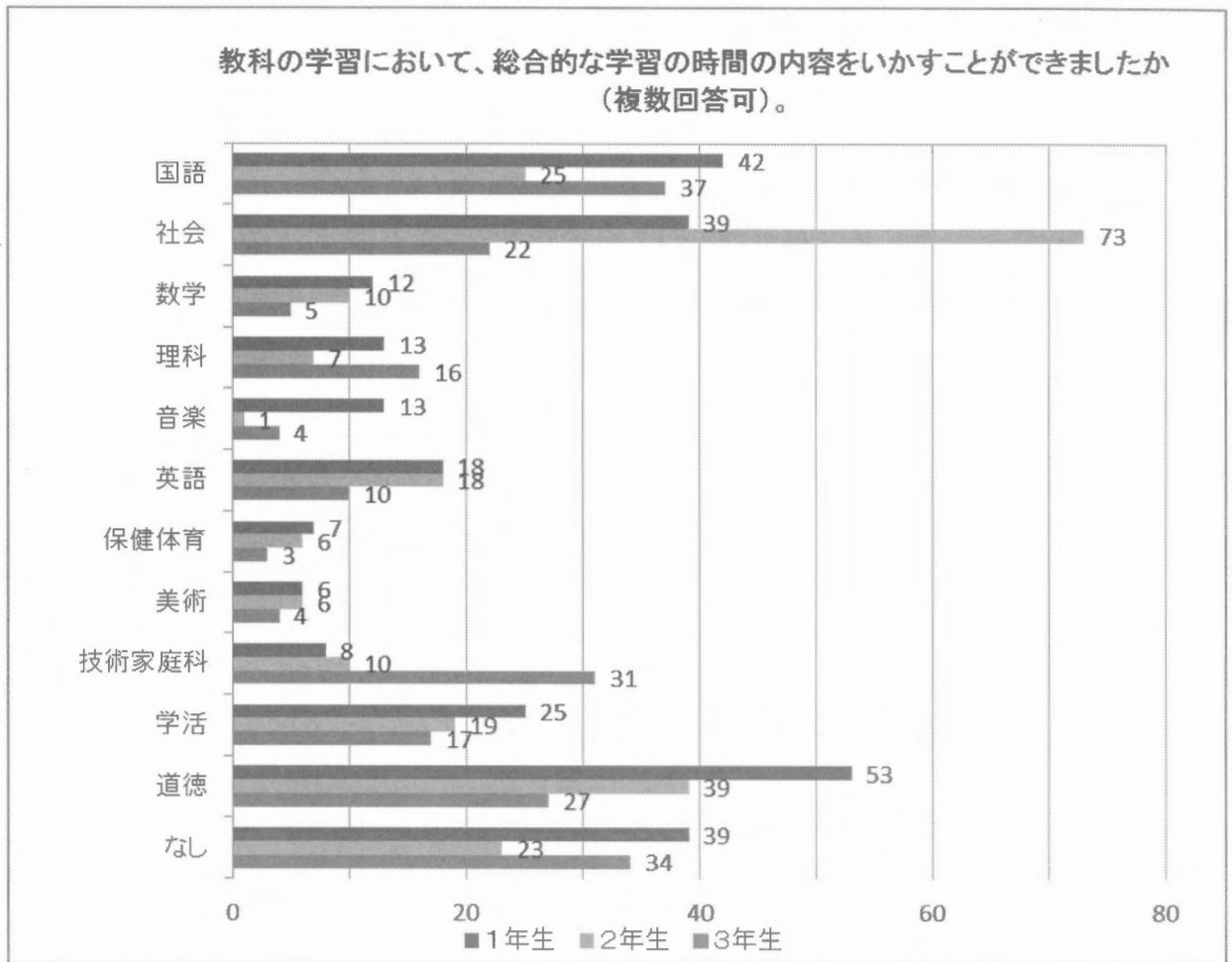


図4 「教科の学習について、総合的な学習の時間の内容をいかすことができましたか」の結果

【数学】

- 総合で仮説を立ててそれに向って取り組んだことで、証明などの数学の問題を考える際に役立っている。

【理科】

- 理科を越えて詳しい知識を様々な人との関わりから知ることができて、理科に対する興味が一層高まった。
- 企画したことが甘くて、何度も修正することの大切さを知り、理科の実験で企画を立てるときに細かなところまで考えるようになった。

【英語】

- 総合で松江にたくさんの外国の方が旅行に来ておられることを知り、インタビューなどを通して、これから外国の方と英語で会話することが必要になることを実感できたので、授業で自分から英語を話そうと心がけるようになった。

【音楽】

- 自分たちの合唱を聞いて喜んでくださる方がいることを知ったので、音楽のときに

みんなで合唱することが楽しくなった。

【保健体育】

○高齢者の方達が体操や生涯スポーツなどで楽しみながら自分の健康に気遣っていることを知ったので、日頃の体育の授業で運動することで健康につながると考え、授業に取り組んでいる。

【美術】

○ポスターやパンフレットをたくさん作ったので、人に喜んでもらえるような作品が作りたいたいと思えるようになった。

【技術家庭科】

○レシピを作るとき、まず初めに自分たちで作る、失敗したことでこうすればよかったということを調理実習にいかすことができた。

○総合でカメラやipadを使ったり、動画を編集したりしたので、技術の時間にそれをいかしてスムーズに行うことができた。

【学活】

○たくさんの人と話したり、相談したり関係を気付くことができたこと。

○今までに加え、さらにコミュニケーションの取り方について学び、人との接し方を生かすことができた。

【道徳】

○自分では体験できない考え方や生き方のお話をやっていたので、実際にそういう人に出会ったときに、インタビューしたいことなどがたくさんあったこと。

○相手の気持ちを考えて行動することの大切さを知ったので、道徳で主人公の気持ちを考えるのが楽しくなった。

(3) 教員が感じている成果

図5・6は、総合的な学習の時間を実施して、教員がとらえた生徒の変容についての平成27年度と平成28年度の結果である。

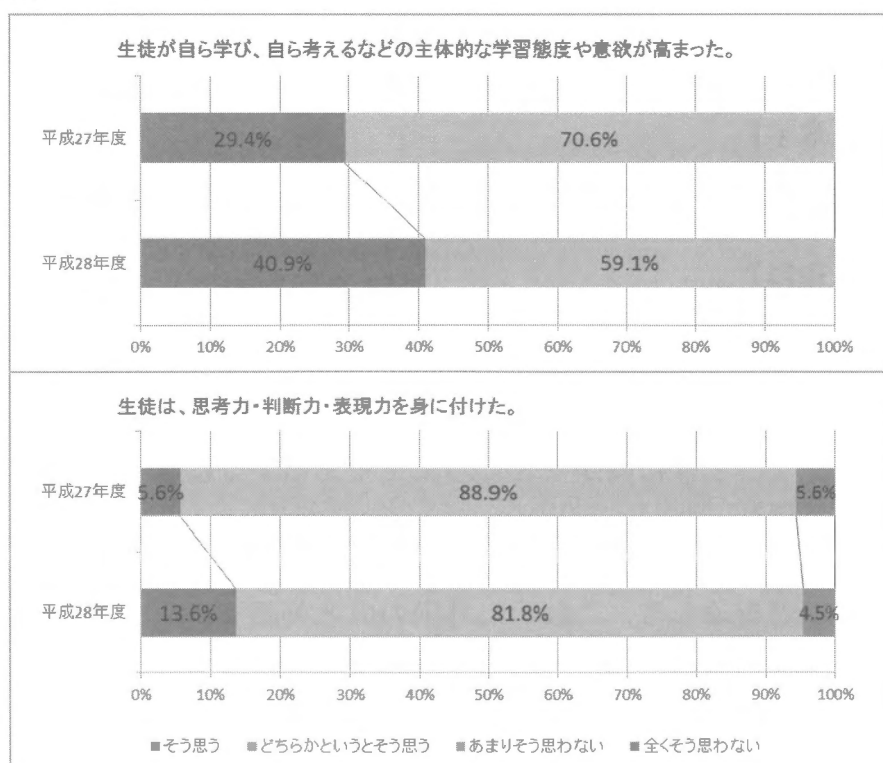


図5 教員がとらえた生徒の変容1

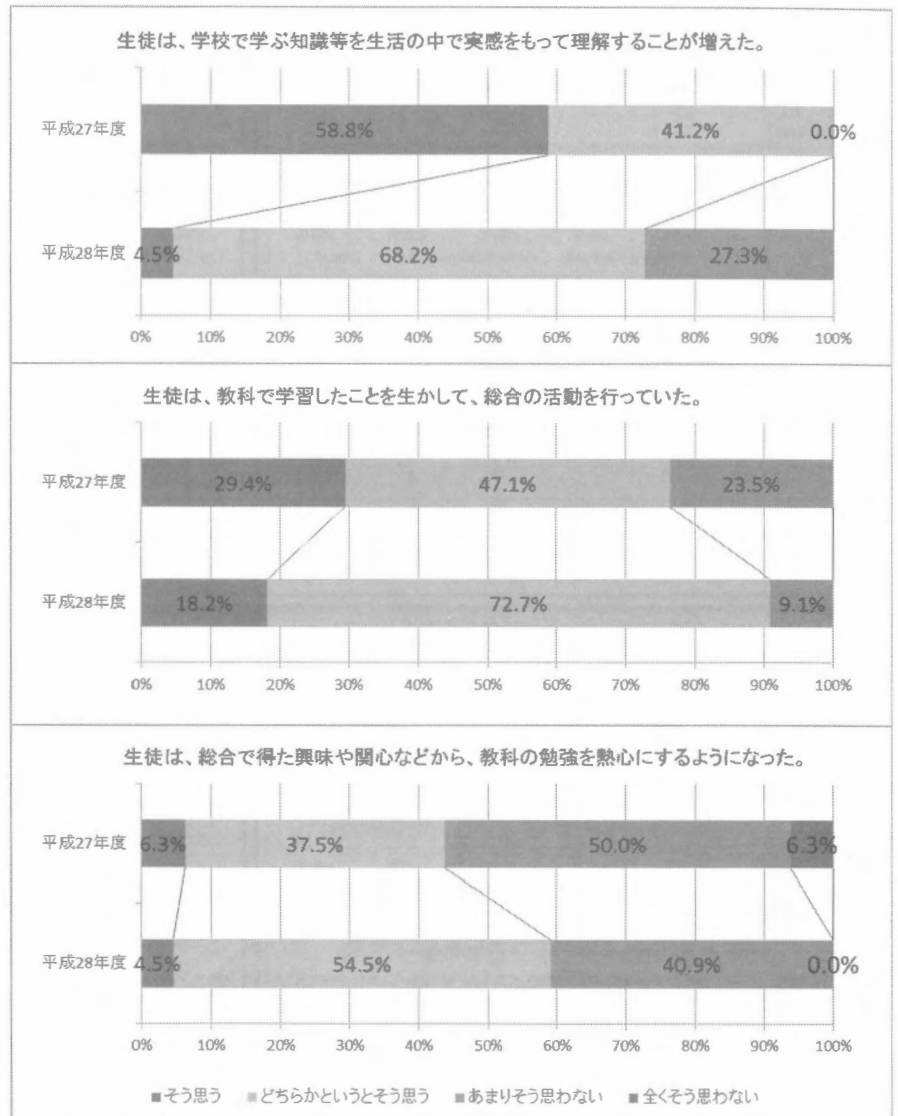


図6 教員がとらえた生徒の変容2

2. 課題

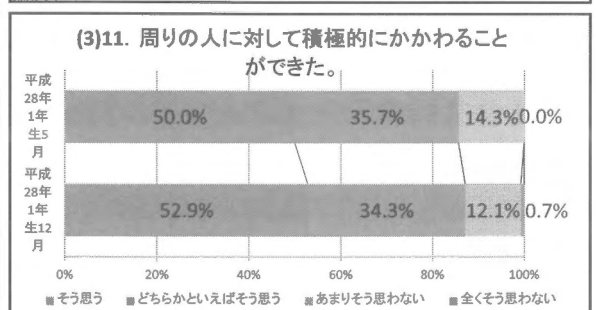
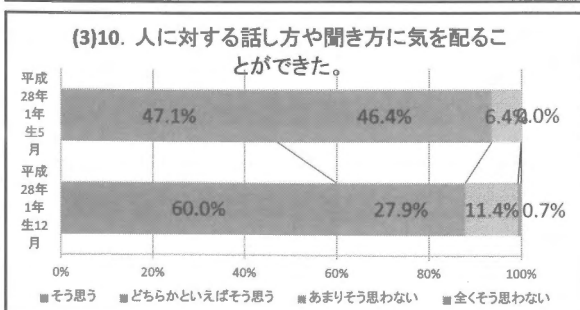
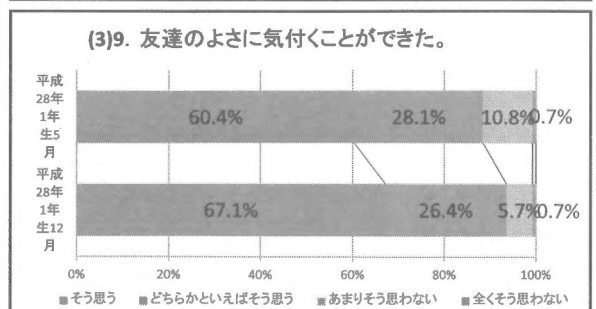
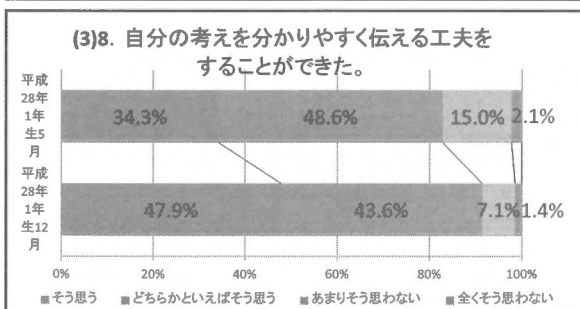
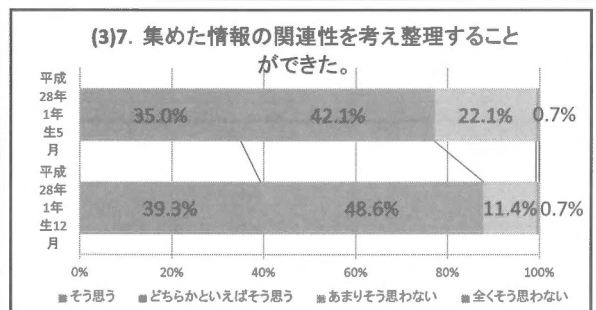
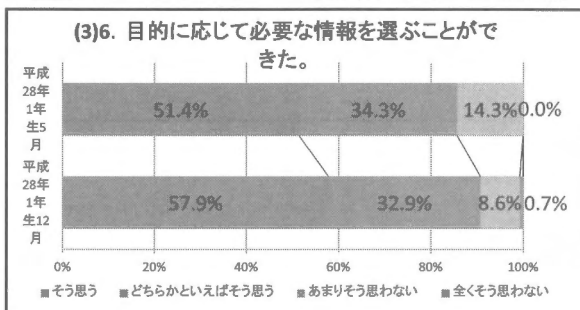
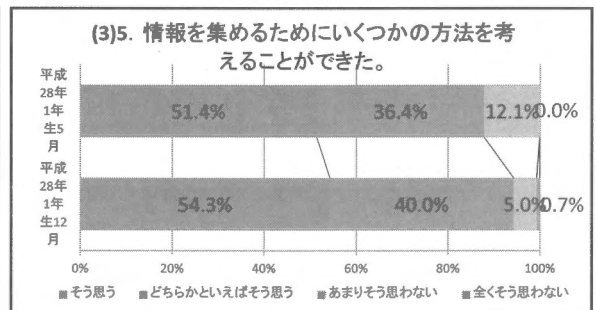
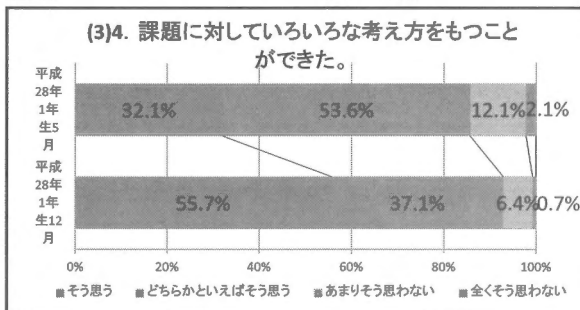
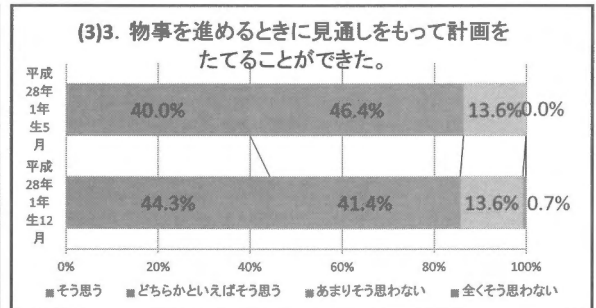
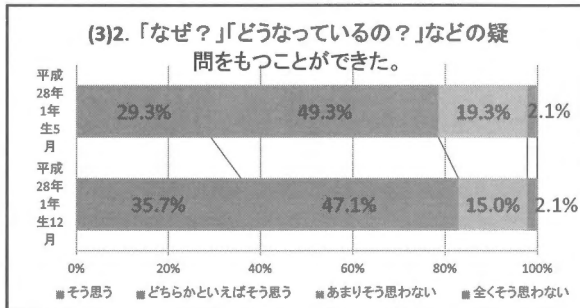
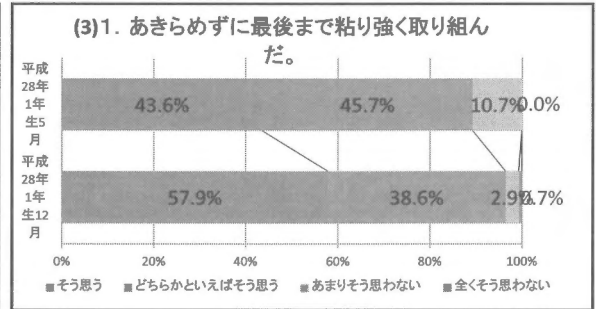
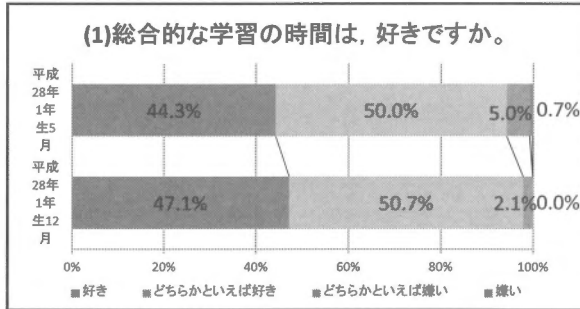
○カリキュラムの系統性と検証

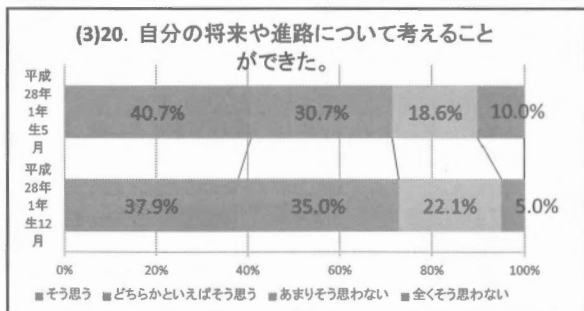
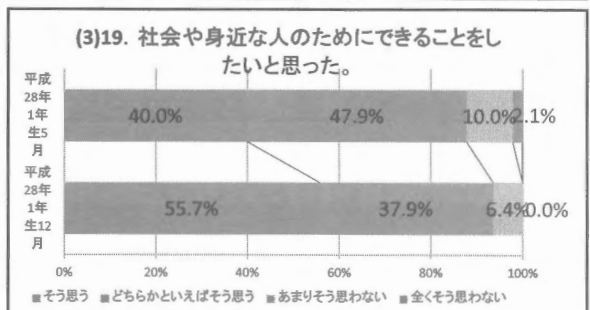
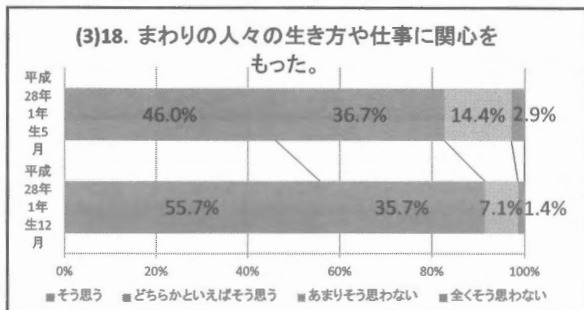
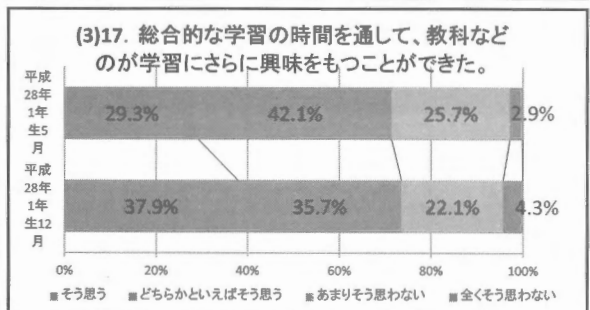
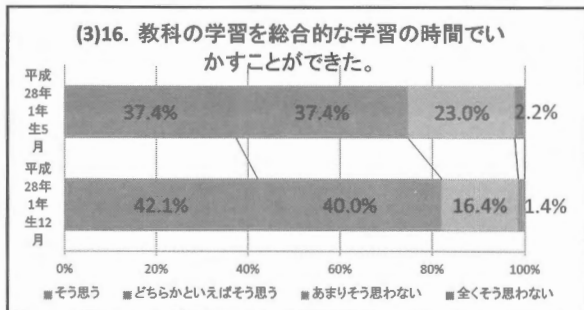
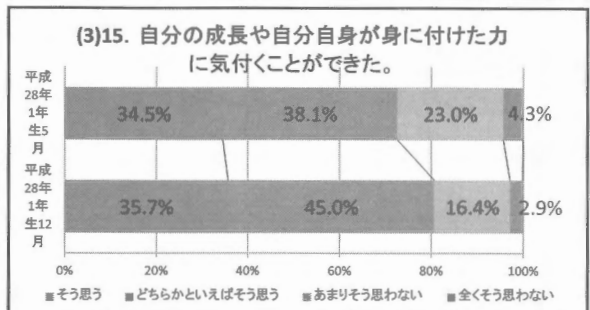
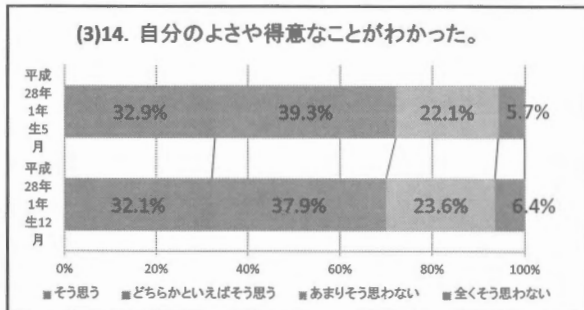
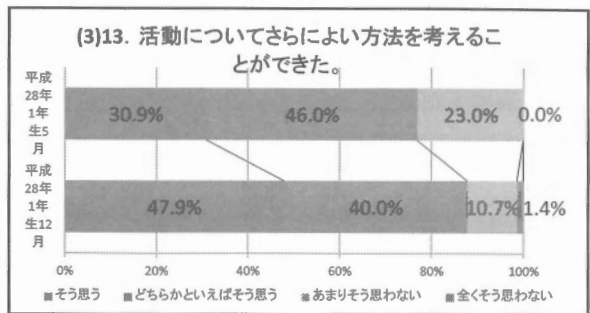
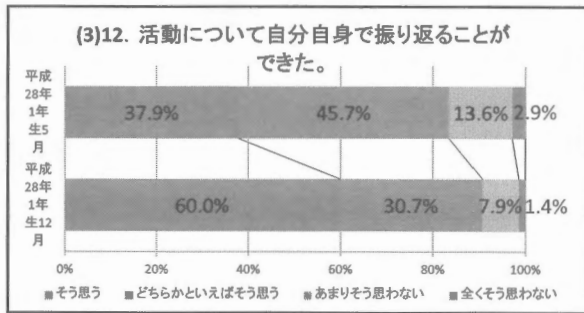
3年間をどう位置付けて、どんな力を育てたいかを整理する。

○3年間のテーマである「住みたいまちプロジェクト～ふるさとの明日を創ろう～」を充実させる

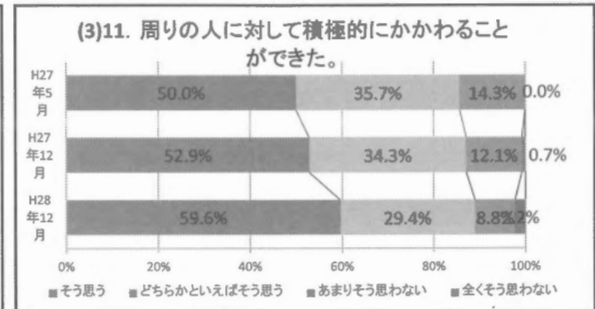
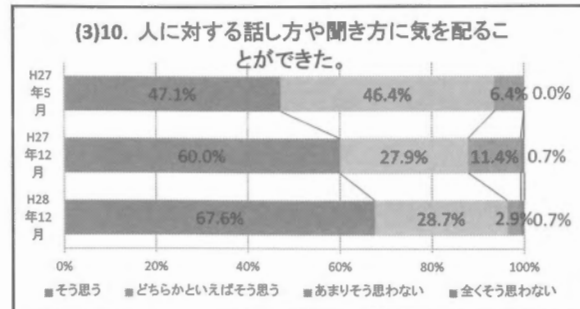
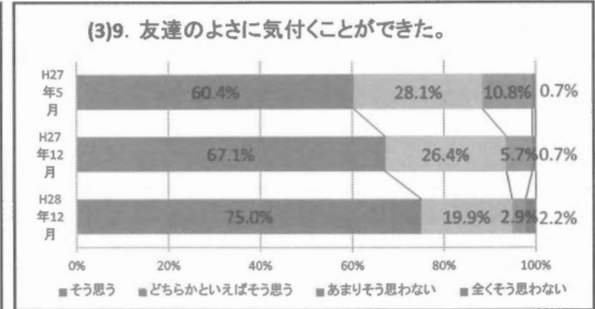
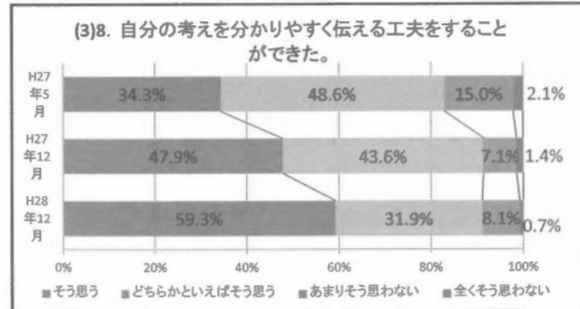
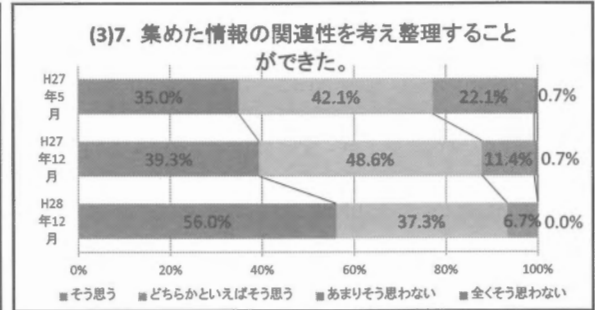
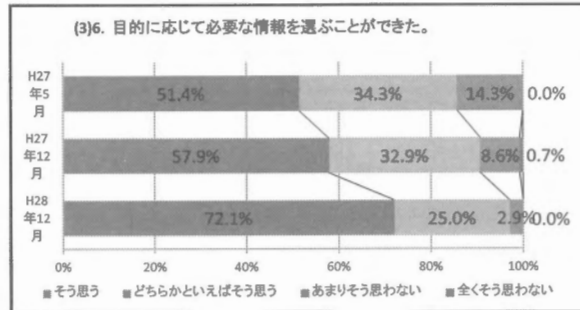
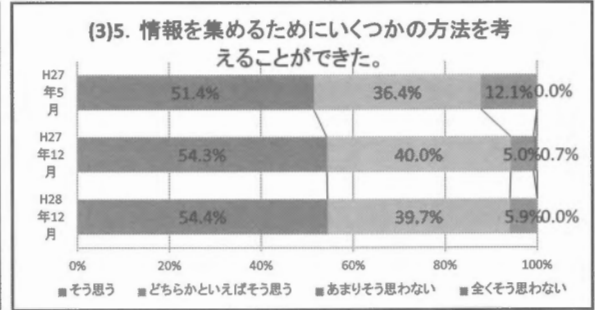
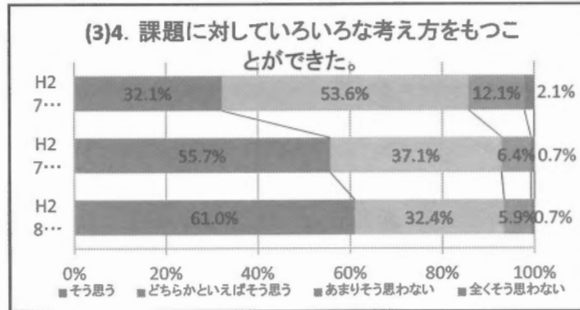
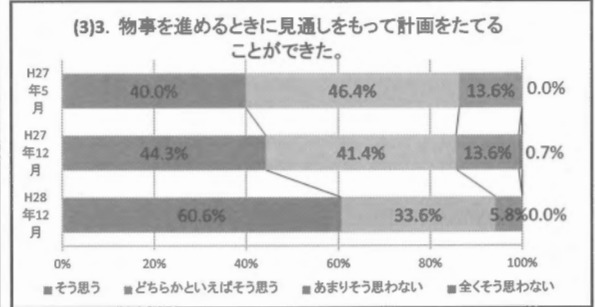
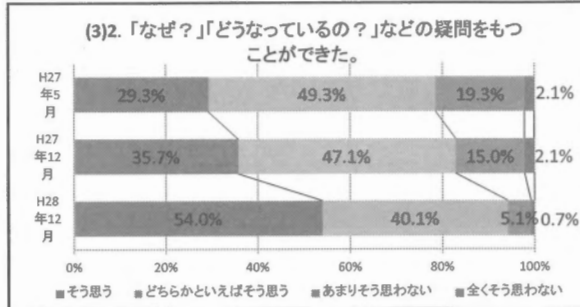
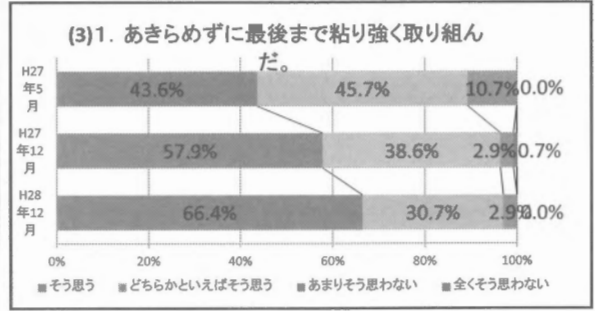
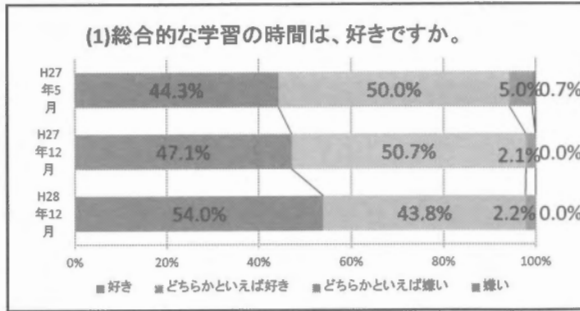
- ・3年間のカリキュラム作り（総合的な学習の時間の活動を軸に教科等の学習内容を連携できるようにする）。
- ・社会参画のテーマが多岐にわたっており、絞り込み、継続性を考えていく。
- ・単年度で終わるのでなく、取組の継続性を考え、テーマを絞り込む。
- ・地方創生などの視点から、県内で活躍しておられる人々との出会いを計画する。

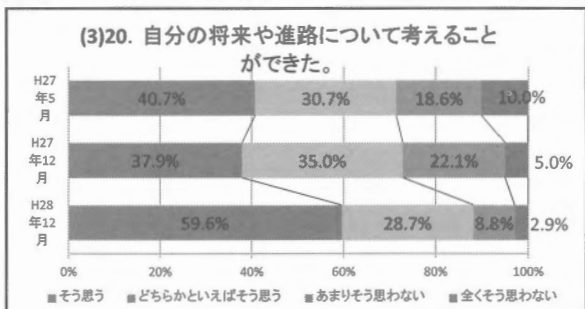
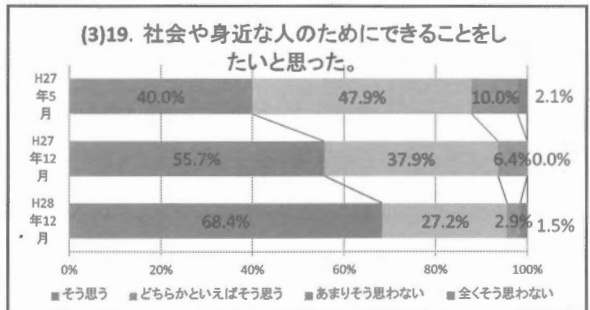
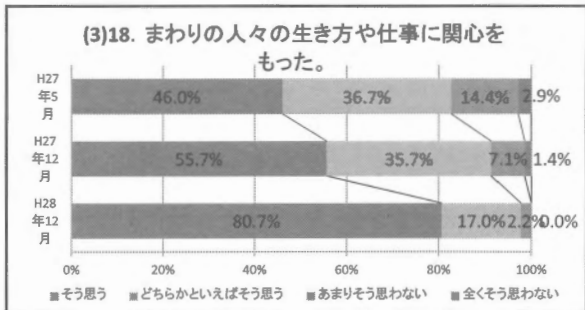
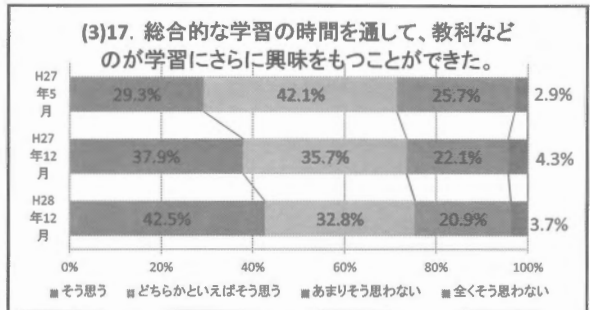
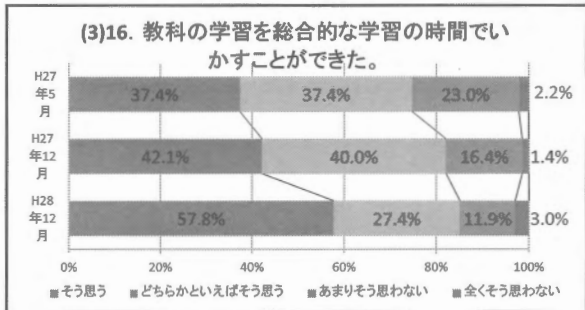
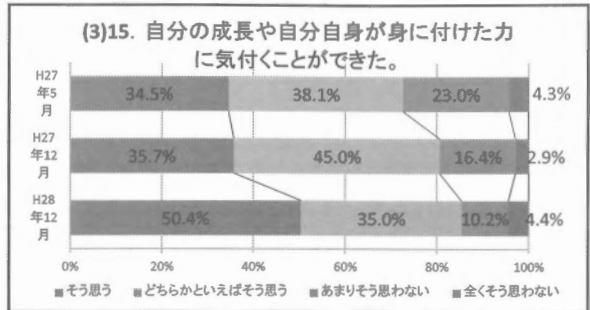
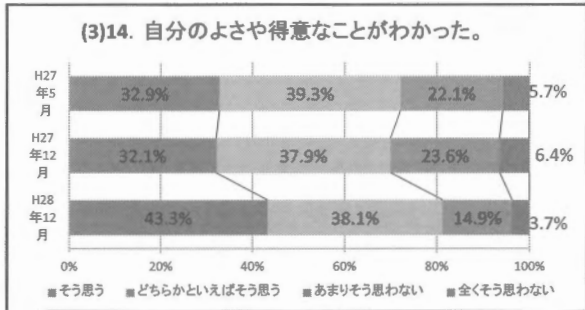
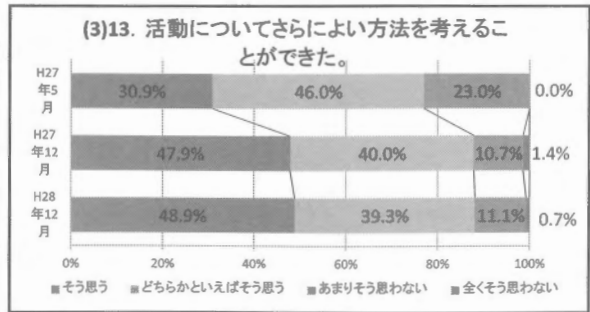
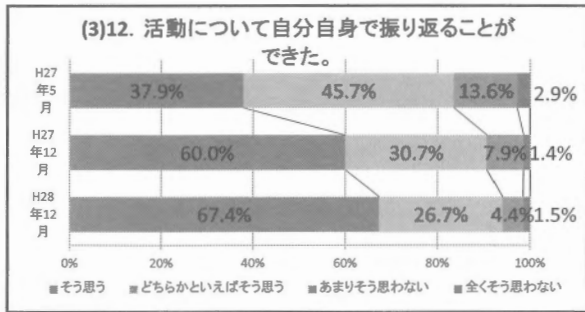
付録1 1年生のアンケート結果





付録2 2年生のアンケート結果





付録3 3年生のアンケート結果

